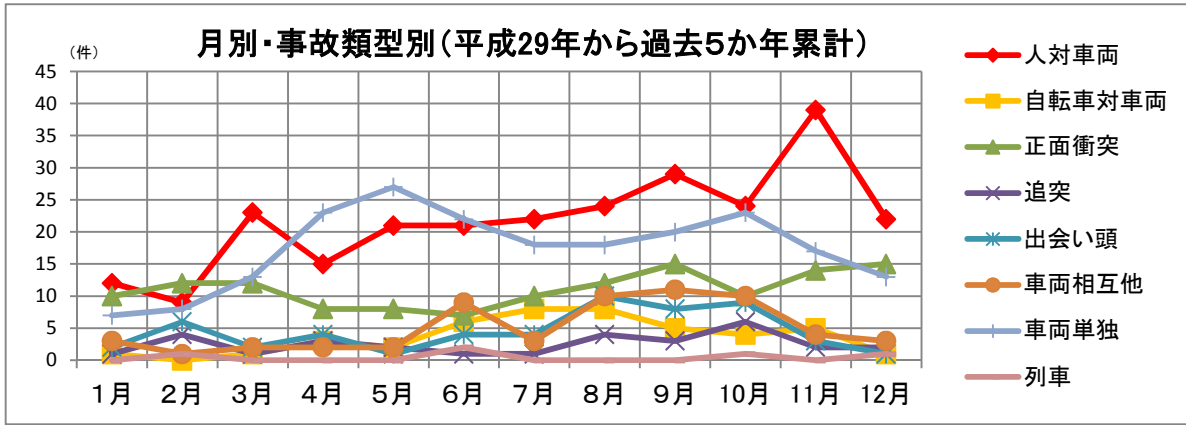


9月～11月の交通死亡事故発生状況（過去5か年：人対車両）

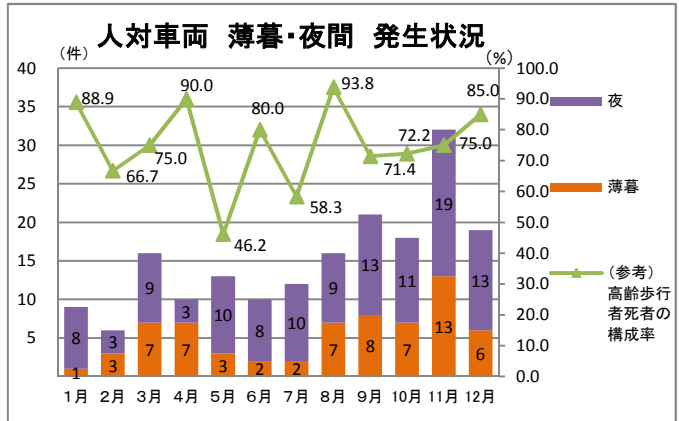
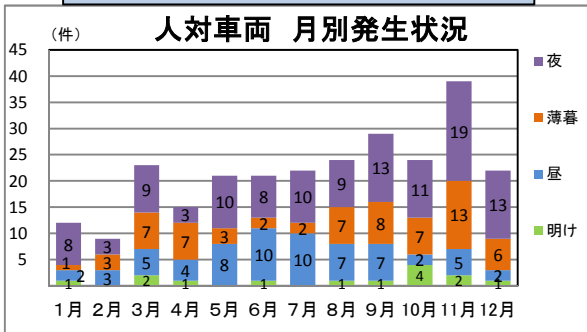
人対車両の交通死亡事故は、8月以降増加傾向となり、11月にピークとなる。



人対車両の死亡事故のうち、明け・昼間・薄暮・夜間別に区分すると、9月以降、薄暮・夜間の割合が高くなる。

明け～日の出時刻の1時間前から1時間後まで
 昼～日の出時刻の1時間後から日の入の1時間前まで
 薄暮～日の入時刻の1時間前から1時間後まで
 夜～日の入時刻の1時間後から日の出の1時間前まで

薄暮・夜間の発生(人対車両)は、9月以降増加傾向となり、11月がピークとなる。



日の入時刻前後が、人対車両の死亡事故が多い。

月	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	
9月	1			2	1				1	1	1				1	1		2	3	7					
																		日の入							
																		15日17:42							
10月		1	1		4	2										1			7	2	1			3	
																		日の入							
																		15日16:49							
11月		1	1		1	3				1		2				1		8	12	3			1	3	
																		日の入							
																		15日16:23							
																		日の入							
																		15日16:07							

各都市(抜粋)日の入時刻

	9/1	9/15	10/1	10/15	11/1	11/15	11/30
札幌市	18:10	17:46	17:17	16:53	16:27	16:11	16:01
函館市	18:11	17:48	17:20	16:57	16:32	16:17	16:08
旭川市	18:07	17:42	17:13	16:48	16:22	16:06	15:55
帯広市	18:03	17:38	17:10	16:46	16:20	16:04	15:55
釧路市	17:58	17:34	17:05	16:41	16:15	16:00	15:50
北見市	18:01	17:36	17:06	16:42	16:16	15:59	15:49

※表の日の入り時刻は北海道の中心地点である富良野市の時刻

左表のとおり、日の入時刻は、9月1日は18時前後であるのに対し、11月30日は16時前後となり、日の入時刻が約2時間早くなる。

9月以降に人対車両の死亡事故が増える要因として、日の入時刻帯においても未だ多くの人が動く時間(仕事、買物)であり、歩行者の交通量も多い状態にもかかわらず、周囲が暗くなるため周りが見えにくくなり、道路を横断・歩行中の歩行者の発見が遅れることが人対車両の死亡事故が増加する原因と考えられる。